

墜落イースプレイオス

米軍報告6月ごろ

笠井氏質問に防衛相答弁

稲田朋美防衛相は2日の衆院予算委員会で、昨年12月13日に沖縄県名護市で空中給油訓練中に墜落した米海兵隊のMV22オスプレイの事故をめぐる、米軍からの事故調査報告が「原則要請の日から6カ月以内」に日本側に提供されるとして、今年6月ごろをめどに公表される可能性を示しました。日本共産党の笠井亮政策委員長に對する答弁。

稲田防衛相は、米軍側に事故調査報告の提

内に行う」とする1996年の日米合同委員会合意を示し答弁しました。

出を昨年12月19日に要請したと報告。「米軍航空機の事故報告書の日本側への提供は原則要請の日から6カ月以

米軍は墜落事故直後の昨年12月19日にはオスプレイの訓練を再開。今年1月6日に空中給油訓練を再開しています。

稲田防衛相

「大臣、あんまり答弁が長いと止めますよ。質問に対して答えてください」。2日の衆院予算委員会で、日本共産党の笠井亮政策委員長の質問に對し、冗長すぎる答弁を続けた稲田朋美防衛相。浜田靖一予算委員長から5回以上も注意を受けながらも、一向に答弁を改めない防衛相の姿勢に、議場では怒号が飛び交っていました。

昨年12月の米海兵隊MV22オスプレイ墜落事件をめぐる、笠井氏は防衛省の報道発表（12月19日）では「事故直後から、在日米軍から情報提供を受け継続的にさまざまな照会を行ってきた」とする一方、航空自衛隊の杉山良行航空幕僚長は「事

冗長すぎる答弁 議場から怒号

実関係が米軍から公開されておらず、具体的な分析がほとんどできていない」（12月16日）と述べた矛盾をつきました。

稲田防衛相はこの指摘に一切回答せず、「防衛省の分析と評価について具体的に申し上げる」と8点にわたって強弁。「そんなこと聞いてないよ」との野党議員らの批判を無視し、「第1に…」とひたすら手元の答弁書を5分間以上も読み上げ、直後に退席しました。「ほんとにひどいな。けんかでも売っているのか」と話すあきれ顔の記者も。「ここに今の安倍政権の姿勢が示されている。日本国民の命と安全のために、真剣にかみあった議論をしていただきたい」。笠井氏の指摘が議場に響き渡りました。

（博）